

第 23 回 （ 就労支援 ） 分科会報告書

1. 開催日時：平成 26 年 11 月 4 日（水） 9：00 ～ 15：00

2. 開催場所：大牟田恵愛園

3. 参加者（所属のみ）

デュナミス、夢工房、わ～よか、のぞえ風と虹、さんふらわあ、八女作業所、陽だまりの里、城山学園、蓮の実団地、夢と希望、八女市福祉課、広川町健康福祉課、地域生活サポートセンター、リーベル 計 18 名

4. 実施内容

○大牟田恵愛園 見学

①事業説明：大牟田恵愛園（障害者支援施設）、恵愛ワークセンター（障害福祉事業）

1983 年 4 月 重度身体障害者授産施設「大牟田恵愛園」として開所

1991 年 4 月 身体障害者通所授産施設「恵愛ワークセンター」開所

2007 年 1 月 地域交流センター「たんぽぽ」開所

レストラン&喫茶「そよかぜ」開店（たんぽぽ内）

②見学：就労移行支援、就労 A 型支援、就労 B 型支援を見学。

- ・クリーニング事業・・・病院制服メイン
北は八女地区（公立病院）から南は田原坂（熊本）の病院より委託を受けている
- ・タオル作業・・・病院からの依頼色によって（清拭用、下用タオル）分けてある
- ・パン製造事業・・・6 時出勤もある。市役所、学校等に販売に伺う
- ・リサイクル（部品解体）事業・・・パソコン解体、電話ボックス等

*就労移行、A 型、B 型とそれぞれに定員はあるが、その分野ごとに作業を分けてはいない。同じ作業をされているがその中で区別されている。

○質疑応答

Q. リーベル：就労移行支援の後の一般就労状況は？

A. 恵愛園：たんぽぽにデータがある。

Q. リーベル：地域移行の居住支援はどうされてあるか？

A. 恵愛園：G.H（アパート型）が 8 か所あるので、相談部門、ヘルパーと協議しながら対応している。



Q. リーベル：大牟田の自立支援協議会（分科会等）の状況は？
A. 恵愛園：自立支援協議会はあまり取り組めていない。分科会というより「生活、登下校プロジェクト」という分野はある。

Q. リーベル：発達障害、高次脳機能障害の方の受け入れ状況は？
A. 恵愛園：その方の状況、こちらの作業を勧誘して受け入れている。

Q. わ～よか：工場のような感じを受けました。その中で「一般就労したい」という希望は出ないか？

A. 恵愛園：一般就労よりA型（他事業所）へ移りたいという希望はある。又20万/月ほしい等の要望もある。

Q. わ～よか：フルタイム（8H）の就労は可能か？

A. 恵愛園：施設自体が山の上にある為最低でも16時までにしないと送迎関係で難しい為、当面は現状のまま。

Q. のぞえ風と虹：工賃アップの為にコンサルタントを導入されてあるがどういう意味でどうやってコンサルタント導入に踏み切ったか？ちなみに自分の事業所もコンサルタント導入の検討は行ったが、自信がない等でできなかった。

A. 恵愛園：厚生労働省より「九州内でどこかしないか？」と声がかかったので行った。

Q. リーベル：A型もB型も同じ空間だが不満の声はでないのか？

A. 恵愛園：出ます。B型の方が多いが、その方は生保の方で「そんなにお金は必要ない」と言われる方が多い。A型を見て「あれで？」と愚痴的な事を言われる事が多い。又、A型の最初の取り組みは「職人補助」という感じの為、目につきやすいよう。

Q. 恵愛園：最近ではA型事業所が多くなりB型の定員割れに繋がっているが、八女地区ではどんな感じか？

A. リーベル：広川地区を含めて4事業所になった。



○レストラン&喫茶「そよかぜ」へ移動
(地域交流センターたんぼぼ内、
大牟田社協裏)

・ランチ 600 円

(肉料理 12 名魚料理 6 名)

ごはんおかわり OK コーヒー付)

・エレクトーンの生演奏あり

・厨房遠目に見学 ジャージ姿（特別支援学校）の実習生 2 名作業中

